

# 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

## 事業名 【新】介護現場における生産性向上支援事業費（地域医療 介護総合確保基金（基金））

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

健康福祉部 高齢福祉課 長寿社会推進係 電話番号：058-272-1111(内3464)

E-mail：c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,028 千円（前年度予算額： 0 千円）

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	7,028	0	0	0	0	0	7,028	0	0
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 2 要 求 内 容

### （1）要求の趣旨（現状と課題）

介護現場においては、限られた人材で介護ニーズに対応していくため、新たなテクノロジーの活用や介護助手の導入等によるサービスの維持・向上や負担軽減といった生産性向上の推進は喫緊の課題である。

一方、介護現場においては「課題に適したICT・介護ロボットが分からない」「導入したICT・介護ロボットを効率的に運用できていない」「業務の切り分けができておらず、介護現場の核となるべき介護福祉士の専門性が発揮できていない」などの状況が見受けられる。

### （2）事業内容

- ・生産性向上に向けた取り組みに前向きなモデル事業所へ業務改善コンサルタントを派遣し、コンサルタントの助言のもと業務改善を実践するとともに、効果を検証
- ・取り組み内容や成果について、各圏域で開催する事例発表会において広く周知し、好事例を横展開する

- (3) 県負担・補助率の考え方  
国2/3 県1/3 (地域医療介護総合確保基金)

- (4) 類似事業の有無  
無

### 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	6,847	コンサルティング経費 (業務委託料)
業務旅費	81	業務管理旅費
消耗品費	50	事務経費
役務費	50	事務経費
合計	7,028	

#### 決定額の考え方

本県のICT・介護ロボットの導入実態が明らかではないこと、コンサルティングに係るニーズが不透明であることから計上を見送る。

### 4 参考事項

- (1) 各種計画での位置づけ  
第8期岐阜県高齢者安心計画「介護業務の効率化と質の向上」に記載。
- (2) 国・他県の状況  
地域医療介護総合確保基金においてメニュー化されている
- (3) 後年度の財政負担  
基金の継続に応じて、事業を継続する。
- (4) 事業主体及びその妥当性  
実施主体：県  
県全体の介護人材確保対策を図るため、県が主体となって事業を行う。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

介護事業所が抱える個々の課題に対応したコンサルティングを実施することにより介護現場における生産性向上を図るとともに、好事例を横展開する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H27)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①介護ロボット導入補助台数	32	2,271	2,505	3,100	4,050	56.1%
②ICT導入補助事業所数	0	539	346	429	715	75.3%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和3年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和4年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和5年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

- ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)  
3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)  
3:期待以上の成果あり  
2:期待どおりの成果あり  
1:期待どおりの成果が得られていない  
0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)  
2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

### (今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項  
本事業の有用性に対する介護事業所の理解度を向上させるため、効果的に周知を行うとともに、モデル事業所となるべき事業所を的確に選定する必要がある。

### (次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか  
介護現場におけるニーズを踏まえながら、伴走的支援の在り方を検討していく。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント  
又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせて実施する理由  
や期待する効果 など